



鬼師 服部 秋彦氏

「受け継いできた匠の心」

「鬼瓦ワークショップ」  
高浜の伝統産業・鬼瓦の  
新しい魅力を考え出そう！  
**第二回目**  
**対談：鬼瓦の魅力**

- 全5回シリーズ(スポット参加も可)  
第一回目 工場見学会 5月  
第二回目 座談会 7月  
第三回目 アイデア検討会 9月  
第四回目 ワークショップ 11月  
第五回目 作品展 2月

主催 (公社) 日本インダストリアルデザイナー協会  
共催 三州瓦工業協同組合  
高浜市やきものの里かわら美術館  
高浜市商工会



かわら美術館 学芸員 金子 智氏

「瓦の歴史：美と技の秘密」

第二回目 対談

かわら美術館：金子智氏と鬼師：服部秋彦氏による講演の後、瓦に関する歴史的、技術的、美術的など様々な面からの質疑応答によって瓦に関する理解を深めます。

日時：7月19日(土) 13:30-15:30

13:30-14:00 金子氏講演 14:00-14:20質疑応答  
お茶と高浜名産お菓子で休憩を挟んで

14:30-15:00 服部氏講演 15:00-15:20質疑応答

第二回目参加費： JIDA会員・学生 ¥700

一般 ¥1000

(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

定員 : 30名

申し込み先 : JIDA中部ブロック事務局

FAX 052-722-2207 もしくは

メール: atdseiko@crest.ocn.ne.jp

申込締切 : 定員に達した時点 もしくは7月12日



高浜市やきものの里 かわら美術館

TEL: 0566-52-3366

愛知県高浜市青木町九丁目6番地18

駐車場 第三駐車場をご利用下さい。無料

見学会申し込み書(鬼瓦ワークショップ)

氏名	所属(必須) 当日緊急の連絡先	
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生
		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 学生

# 鬼瓦ワークショップ シリーズ全5回

## 第一回 工場見学 5月24日(土)10:00~15:30

瓦の基礎知識を習得します。量産瓦工場、小口瓦量産工場、手作り鬼瓦工房の三様のものづくりの現場を訪ね瓦産業について学習します。かわら美術館では瓦の歴史や瓦産業の概要についての説明を受け、瓦についての見識を深めます。講師:かわら美術館 若松又人氏、三州瓦工業協同組合 鈴木幸利氏

会費 JIDA会員・学生 ¥2000(B-1グランプリ出品 鶏めし弁当代込み)  
一般 ¥3000 (B-1グランプリ出品 鶏めし弁当代込み)

## 第二回 座談会 -鬼瓦の魅力 7月19日(土) 13:30-15:30

長年 瓦作りに携わってこられた職人さんから鬼瓦の特徴や現状を伺い、フリーディスカッションを通して“創造の種”を発見しましょう。講師:鬼師 服部秋彦氏、かわら美術館 金子智氏

会費 JIDA会員・学生 ¥700(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

## 第三回 アイデア検討会 -鬼瓦の新しい魅力づくり 9月27日(土) 13:30-15:30

前2回の勉強会を踏まえ、皆さんのアイデアスケッチを持ち寄っていただき、皆さんのアイデアについて鬼師さんから技術上のアドバイスをもらいます。

会費:JIDA会員・学生 ¥700(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000(西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

## 第四回 ワークショップ -創造の種を立体に 11月22日(土)9:30-11:30

かわら美術館 陶芸創作室で鬼師のサポートを得てアイデアを実際に製作します。作品は後日 鬼師さんにいぶし銀に焼き上げていただきます。作品は25cm立方体以内の大きさとする。

会費 JIDA会員・学生 ¥3000(陶芸創作教室利用料、材料費込み)  
一般 ¥3500 (陶芸創作教室利用料、材料費込み)

## 第五回 作品展示会 -コミュニケーションの場に 2月

完成した作品を展示します。来場された皆さんとの会話から鬼瓦の新しい魅力が花開くような発表の場を予定しています。詳細は計画中

会費:JIDA会員・学生 ¥700 (西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)  
一般 ¥1000 (西尾特産煎茶+高浜名産お茶菓子付)

日本最大の生産量を誇る三州瓦

三州瓦は、愛知県西三河地方の旧国名「三河」を意味する「三州」を冠にした、粘土瓦のことをいい、石州瓦、淡路瓦と並ぶ日本三大瓦のひとつです。同時に、日本最大の生産量を誇っています。高浜市で瓦が作られるようになったのは、およそ300年前。瓦に適した粘土が掘れたことや、船便による運送が容易な場所であったことなどで、瓦産業が発達したといわれています。

三州鬼師の技が光る「鬼瓦」

鬼師の技が光る鬼瓦は、和式建築物の棟の端などに設置される板状の瓦の総称で、厄除けと装飾を目的とした役瓦のひとつです。三河地区で採取される三河粘土を使い、鬼師の技術を徹底的に追求した手造りの鬼瓦は、見事なものです。

高浜の鬼師たちは、知恩院や平安神宮、天竜寺、熊野神社などの神社仏閣をはじめ、歌舞伎座や彦根城など、全国で活躍しています。